

豊田・堀之内耕地整理の碑



明治 43 年(1910 年) 6 月より大正 2 年(1913 年) 3 月にかけておこなわれた、耕地整理事業を記念して建てられた碑。碑は大きな仙台石で、大正 4 年(1915 年) 10 月に、耕地を一望する日野第 2 小学校北側、高札場の傍らに建てられた。碑には、豊田地内の水田 63 町歩を区画整理し、水準を平衡にして、収益を増し、協力の実績をあげた終始が記されている。

豊田・堀之内の耕地整理事業は、都下では一番早く成功した最大の区画整理事業である。この開墾と前後して、日野万願寺などある程度の耕地整理を行なった例は他にも見られるが、本事業はその規模、

成果において抜きん出たものであった。

(『日野市の文化財』 1994 年 3 月 31 日発行より)

昭和 36 年 10 月 1 日指定